



地域のシンボル「独鈷の滝」



整備前
 ↓
 整備後
 同クラブ会員が山のふもとの木々を伐採・整備。遊歩道を散策しながらあじさいを楽しむこともできます

「あじさいクラブ」は平成17年に、地元・香良老人会による植栽活動を引き継ぐかたちで活動を開始。あじさいの郷づくりに向けて、ゼロから植栽を開始し、平成21年には、目標としていた5000本の植栽を達成しました。

「独鈷の滝」周辺の公園や県道沿では、6月中旬から7月上旬にかけて色鮮やかなあじさいが地域を美しく彩ります。環境美化による社会貢献を

可憐に色づいたあじさいがみなさんを癒してくれます。ぜひあじさい巡りにお越しください



あじさいの群生地などが一目でわかるように看板が設置されています

あじさいで地域をつなぐ

あじさいの郷づくりに取り組む「あじさいクラブ」(氷上町香良)が優れた建築物やまちづくり活動に功績のあった団体などを表彰する「人間サイズのまちづくり賞」(主催・兵庫県)を受賞しました。

目的にはじまったあじさいの郷づくり。今では、あじさいを一目見ようと訪れる人も増え、地域の活性化にもつながっています。

同クラブの足立健会長(74)は「地域の若い人たちも含め、地域全体で守り育てていきたいですね。これからも、香良といえは、『独鈷の滝』と『あじさいの郷』と認知されるよう活動を継続していきたいです」と意気込みを話してくれました。

元気な神楽を全国に発信!

「恋するフォーチュンクッキー 神楽バージョン」が完成

神楽自治振興会(青垣地域)が、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」の曲に合わせてダンスを踊る動画を制作し、現在、動画共有サイト「YouTube(ユーチューブ)」に掲載されています。

撮影は、12月中旬にスタートし、田舎暮らしを体験できる「かじかの郷」や大いちょう「乳の木さん」など、地域の名所を中心に、約1カ月をかけて50シーンほどを撮影。子どもからお年寄りまでが参加し、地域の元気を全国に発信しています。



田舎暮らしを体験できる「かじかの郷」をPR



「フォレスト神楽」のご近所仲間で元気よくダンスを披露



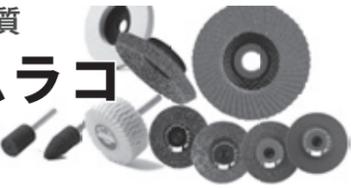
ディスカバー! 丹波のきらめき企業 Vol.35

【会社概要】株式会社ムラコ

- 所在地 丹波市山南町梶 715
- 電話番号 70-8555
- ホームページ <http://www.kenmazai.co.jp>
- 主な事業内容 研磨工具製造業
- 従業員数 37人

安心と信頼のムラコ品質

株式会社ムラコ



平成19年に新築した、(株)ムラコの本社事務所です!

「体育で育む豊かな心」

～青年海外協力隊員 前川さん
 エチオピアからの帰国報告～



エチオピアでの派遣期間を終え、市長に帰国報告を行った前川次郎さん(写真左)

青年海外協力隊員として、エチオピアに派遣されていた前川次郎さん(26)(山南地域)が2年間の派遣期間を終え、2月4日(火)に、市長へ帰国報告を行いました。

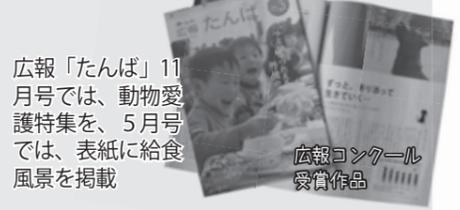
前川さんは、現地の中高一貫校の高等部で体育教師として活躍。「技能を磨くことだけでなく、相手を敬い、協調することの大切さを教えたかった」と話す前川さん。週末には、サッカーの大会を開き、現地の指導者たちに、スポーツを通して、子どもたちの「生きる力」を養う指導法を教えるなど、地域に貢献しました。

今後、急速な経済成長が見込まれるアフリカでのビジネスに興味をもった前川さんは、車の部品を取り扱う商社への入社が決定。「赴任先のウガンダで、日本とアフリカの架け橋となれるようにがんばりたい。そして、いつかは丹波市に帰って教師になりたい」と抱負を語りました。

祝 第61回兵庫県広報コンクール 広報「たんば」が「広報紙部門」 「写真部門」でダブル受賞

(社)日本広報協会兵庫県支部などが主催する「第61回兵庫県広報コンクール」において、広報「たんば」11月号(No.109)が「広報紙部門(市の部)」で努力賞を、また、同5月号(No.103)が「写真部門(一枚写真の部)」で入選を受賞しました。

今回の受賞は、取材にご協力いただきましたみなさん、また、広報「たんば」の発行にご理解いただいております市民のみなさんのおかげです。今後も、親しまれる広報紙をめざして、制作に努めていきます。



広報「たんば」11月号では、動物愛護特集を、5月号では、表紙に給食風景を掲載
 広報コンクール受賞作品



西日本最大級のものづくりイベント「関西機械要素技術展」にも出展するなど、積極的なPR活動を行っています

わが社のきらめく「丹波人」



梅谷卓弘さん(27)
 東日本専属で営業に励む入社4年目の梅谷さん。当初は、東日本での営業に苦戦していましたが、今では、お客様に自分の名前と自社製品を覚えてもらい、やりがいを感じる毎日なんだとか。「もっと各地で自社の製品をPRして、会社に貢献できる人材になりたい」と抱負を話してくれました。

「研磨材は、用途や材質によって、お客様の一つひとつの要望に応えることができるように、オーダーメイドで研磨材を製造しています」と話すのは、同社の村上社長。機械で製造することが難しい細かな研磨材も、従業員の手作業によって製造されており、お客様が求める

★お客様の要望に全力で応えます
 「研磨材は、用途や材質によって、お客様の一つひとつの要望に応えることができるように、オーダーメイドで研磨材を製造しています」と話すのは、同社の村上社長。機械で製造することが難しい細かな研磨材も、従業員の手作業によって製造されており、お客様が求める

研磨材が製造できるまで、とことんこだわり続けられています。

★自社ブランドで販路を拡大
 自社の研磨材をもっと多くの人に知ってもらいたいとの思いから、オーダーメイドで製造していた売れ筋の研磨材の一部を、自社ブランド(MURAKO)で既製品化。現在、自社ブランドの知名度を向上させるため、東日本を中心に積極的なPR活動を展開するとともに、ものづくりのイベントにも出展し、販路拡大に力を入れています。村上社長は、「丹波市から全国、さらに、中国・東南アジアなどの海外に向けて、製品の魅力を発信し続けることで、地道に『MURAKO』ブランドの知名度を上げていきたい」と意気込みを話してくれました。